

2023年6月
品川女子学院図書室発行
237号

最近の図書室では、紙の本の貸出の他、電子書籍の貸出がかなり増え、リクエスト数も順調に増えています。文化祭や、4年生のCBL、5年生の探究活動の資料の準備も日々続けています。

皆さんの活動に寄り添う使える図書室を目指しています！

資料を探しますので、遠慮なくお声掛けください！！



図書委員会*広報班活動*

[913/イ]『777』伊坂幸太郎：著／KADOKAWA

ことごとく運に見放されている殺し屋・七尾。仕事先の超高級ホテルにて紙野結花という逃走中の女性に助けを求められます。実は彼女は超人的な記憶力の持ち主で、その記憶を狙って様々な勢力の人間がホテルに押し寄せているのです。物語は多様な人物の視点で展開され、誰が勝利を掴むのかは最後までわかりません。

段々と謎が解明されていくミステリー要素と迫力満点のアクションシーンを兼ね備えたコスパのいい一冊です。ぜひ手に取ってこの事件の結末を見届けてください！

5年 Sさん



[726]『あるかしら書店』ヨシタケシンスケ：著／ポプラ社

この本は「こんな本あったらいいな」「こんな機械あったらいいな」というのが詰まった「本にまつわる本」の専門店のお話です。

自分が想像していなかった新たな本や機械のイラストを見てクスッと笑ったり、新たな驚きを得られる本となっています。

1ページ完結型で、イラストが多く使われているので、文字を読むのが好きではないという方、朝の時間でちょっとずつ読みたいという方にもおすすめです。是非、読んでみてください！

4年 Oさん



図書委員会*装飾班活動*

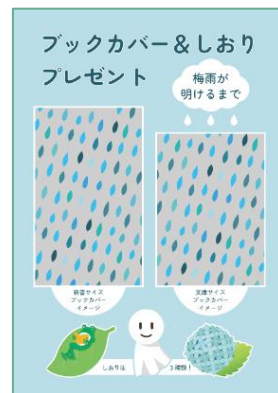
図書室入口にあるPOP・電子図書館のバナーは図書委員会の装飾班が担当しています。毎月彩られる展示をぜひチェックしてください。季節ごとに変化があって、見るだけで楽しめると思います。



新しいブックカバープレゼント！

文庫・新書・ジュニア文庫（講談社青い鳥文庫や角川つばさ文庫等）の対応サイズの本を借りたら雨模様のブックカバーをプレゼント！

しおりは、てるてる坊主・カエル・アジサイ柄の3種類の内、1つ選んでください。てるてる坊主には、たまに違うデザインがあるかも！？



選書会で購入した本の紹介

昨年度の図書委員会では、高田馬場の書店さんで選書会をしました。結果購入した本は60冊ほどになりました。そんな本の一部を昨年度の図書委員が紹介してくれました。

[913/フ]『逆転美人』藤崎翔：著／双葉社

少し重いテーマから始まります。ルッキズムの恐ろしさが当人視点で語られているので、とても考えさせられます。タイトルや表紙の意味が最後にわかるので、推理しながら読んでみてください。 5年 Tさん

[913/ス]『世界でいちばん透きとおった物語』杉井光：著／新潮社

妻帯者ながら多くの女性と交際をしていた大御所ミステリ作家、宮内彰吾が死去した。そんな彼の落胤である主人公は、半ば強制的に遺稿を探すことになる。SNSで話題沸騰中のこの物語。タイトルにはどのような意味があるのか、電子書籍化絶対不可能とはどういうことなのか……。世界が『透きとおる』感動を是非味わってみてください。 5年 Hさん

[913/ナ/1]『鬼人幻燈抄 1 葛野編 水泡の日々』中西モトオ：著／双葉社

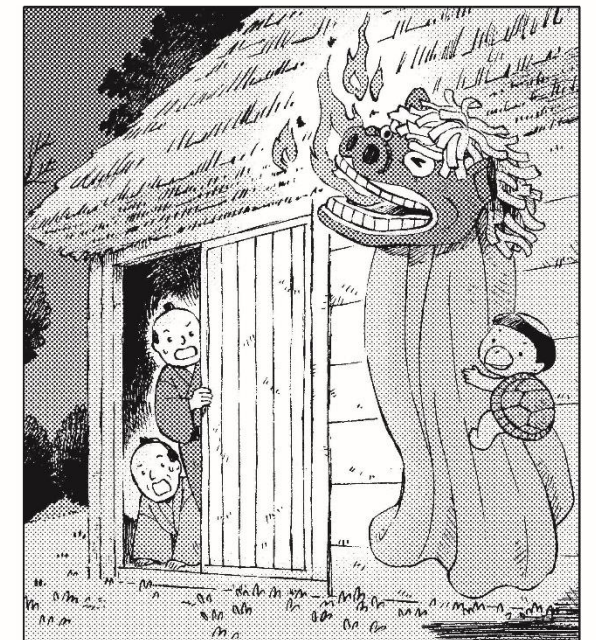
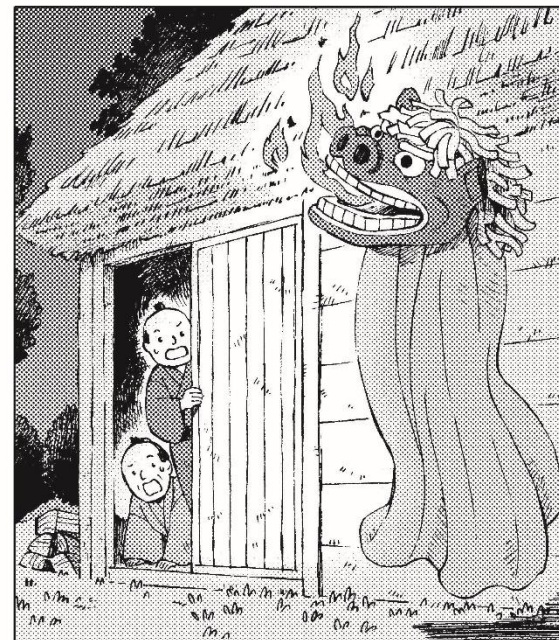
最初から悲しい雰囲気、そこから段々と明るくなり、その後に過激になる。という感覚。名の通り、鬼が出るので、少しファンタジー感もある。 2年 Kさん



『遠野物語』 柳田國男

岩手県の遠野には、神楽に用いられる、獅子舞に似た“ゴンゲサマ”という木彫りの像があります。そして、だれも操っていないゴンゲサマが軒先の火に噛みついて消そうとしたという、不思議なエピソードが伝わっています。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。



答えは図書室にあります